

第2章 高齢者を取り巻く現状と課題

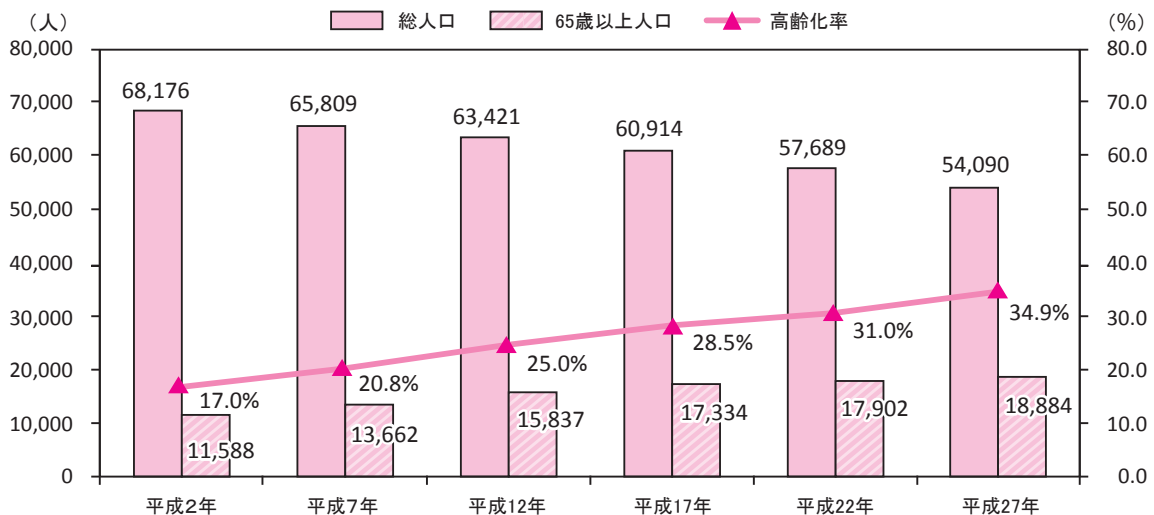
1 高齢者の現状

国勢調査の人口推移をみると、本市の人口は減少傾向にありますが、65歳以上の人口は増加しています。それに伴い、高齢化率は右肩上がりとなっています。

性別、年齢階層別の人口をみると、平成17年から平成27年で、男女とも団塊の世代を中心に60代の人口が増加していることがわかります。

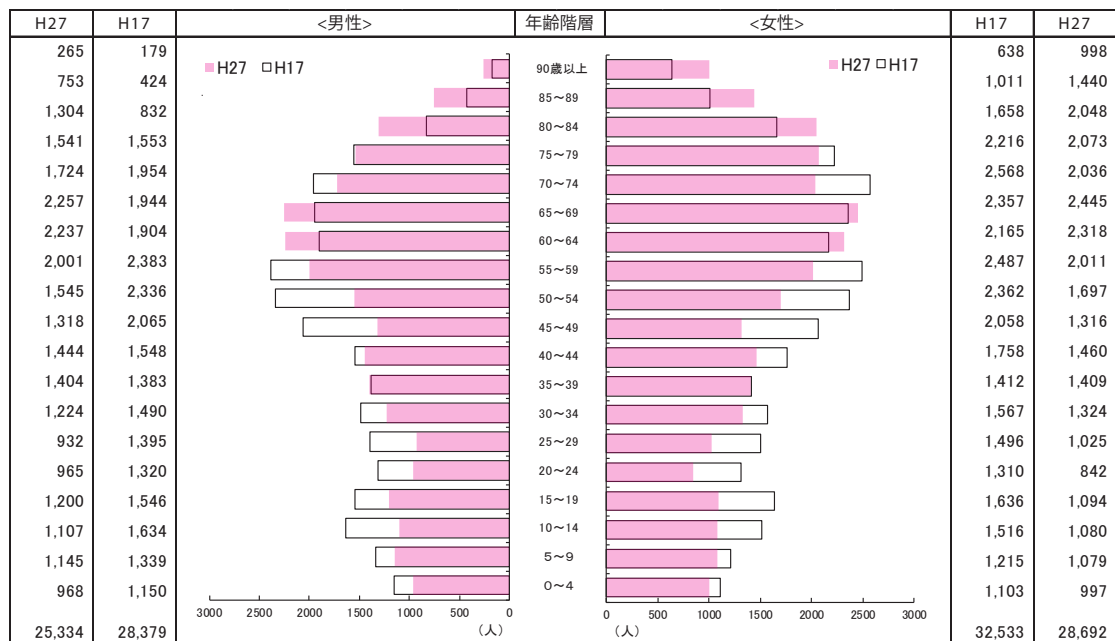
平成17年と比べ、若年層の人口が減少していることから、今後も高齢化が進むと予想されます。

■ 総人口及び65歳以上人口、高齢化率の推移 ■



資料：国勢調査（※総人口は年齢不詳を含む）

■ 5歳階級別人口ピラミッド ■



資料：国勢調査

2 高齢者実態調査結果の概要

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

① 調査の目的

本調査は、日南市に在住する高齢者の日常生活の状況や健康状態等を把握し、今後の介護保険をはじめとする高齢者保健福祉施策に活かすために調査を行いました。

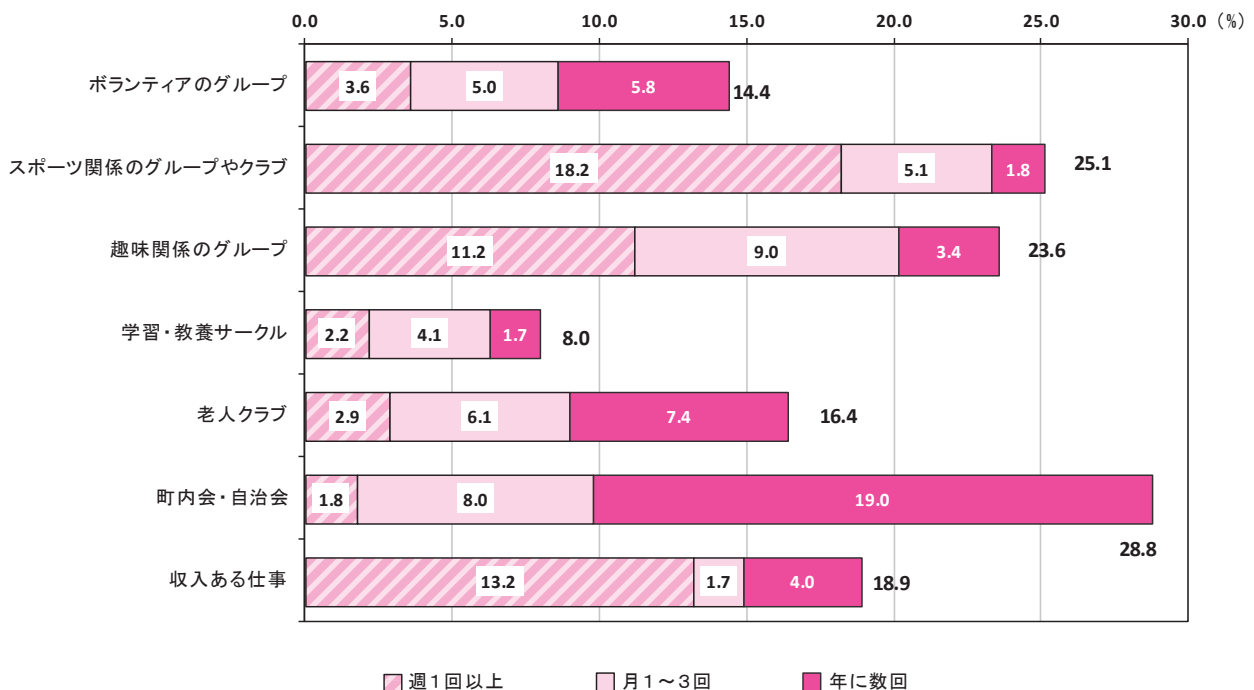
② 調査の実施方法

区 分	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
1 調査対象者と抽出方法	市内に居住している65歳以上（要介護認定者を除く）の人の中から、介護保険の被保険者台帳情報を活用し、無作為に抽出
2 調査方法	郵送方式による郵送配布・郵送回収
3 調査期間	平成29年6月26日～7月11日
4 回収状況	発送数 2,500 回収数 1,442 回収率 57.7%

③ 活動への社会参加

各種活動への参加率（年に数回以上の割合）をみると、『町内会・自治会』が28.8%と最も多くなっています。次いで『スポーツ関係のグループやクラブ』が25.1%、『趣味関係のグループ』が23.6%となっています。

問 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。



④ 地域づくりへの参加意向

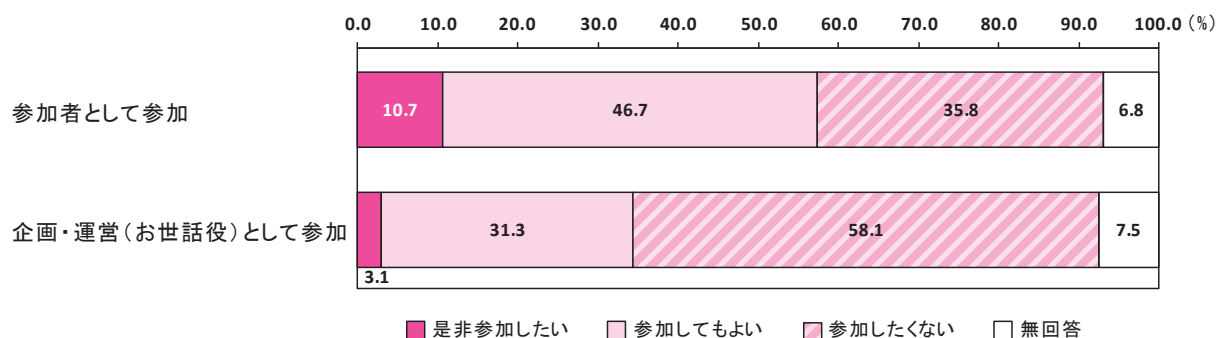
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進める活動への参加状況をみると、

■参加者としての参加意向としては、「是非参加したい」が10.7%、「参加してもよい」が46.7%、合計した参加率は57.4%

■企画・運営（お世話役）としての参加意向としては、「是非参加したい」が3.1%、「参加してもよい」が31.3%、合計した参加率は34.4%となっています。

問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

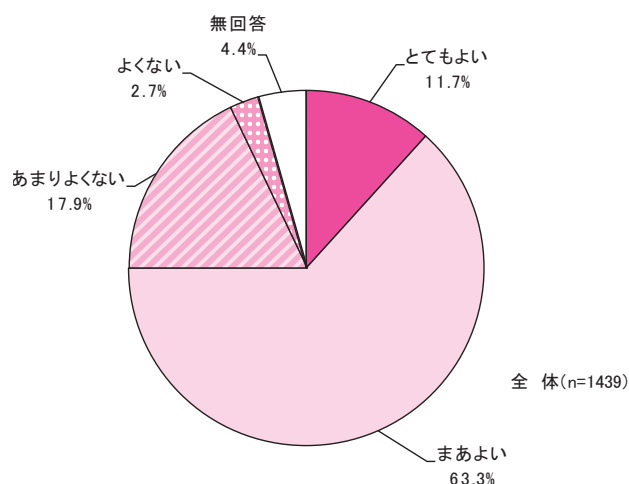
問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。



⑤ 主観的健康観

健康状態をみると、「とてもよい」が11.7%、「まあよい」が63.3%となっています。一方、「あまりよくない」が17.9%、「よくない」が2.7%となっています。

問 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

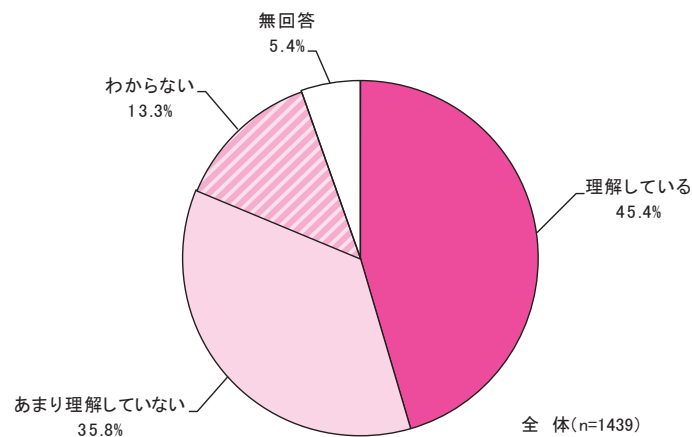


⑥ 介護保険料について

介護保険料の基準額は、3年ごとに、市全体でどの程度サービスが必要かによって決まります。（サービスを利用する人の割合が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたり、と額は高くなるしくみです。）その上で、前年の所得に応じて個々人の保険料額が決まります。

介護保険料の決め方についてみると、「理解している」は45.4%と半数を下回り、「あまり理解していない」が35.8%、「わからない」が13.3%となっています。

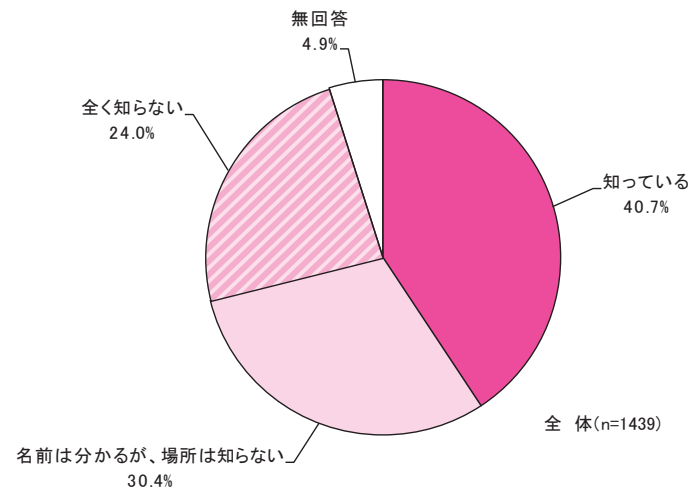
問 介護保険料について、以上のことをご存じでしたか。（○は1つ）



⑦ 地域包括支援センターの認知状況

地域包括支援センターの認知状況をみると、「知っている」が40.7%、「名前は分かるが、場所は知らない」が30.4%、「全く知らない」が24.0%となっています。

問 あなたは、お住まいの地区の地域包括支援センター（北地区、東地区、中央地区、南地区の4カ所があります）についてご存知ですか。（○は1つ）

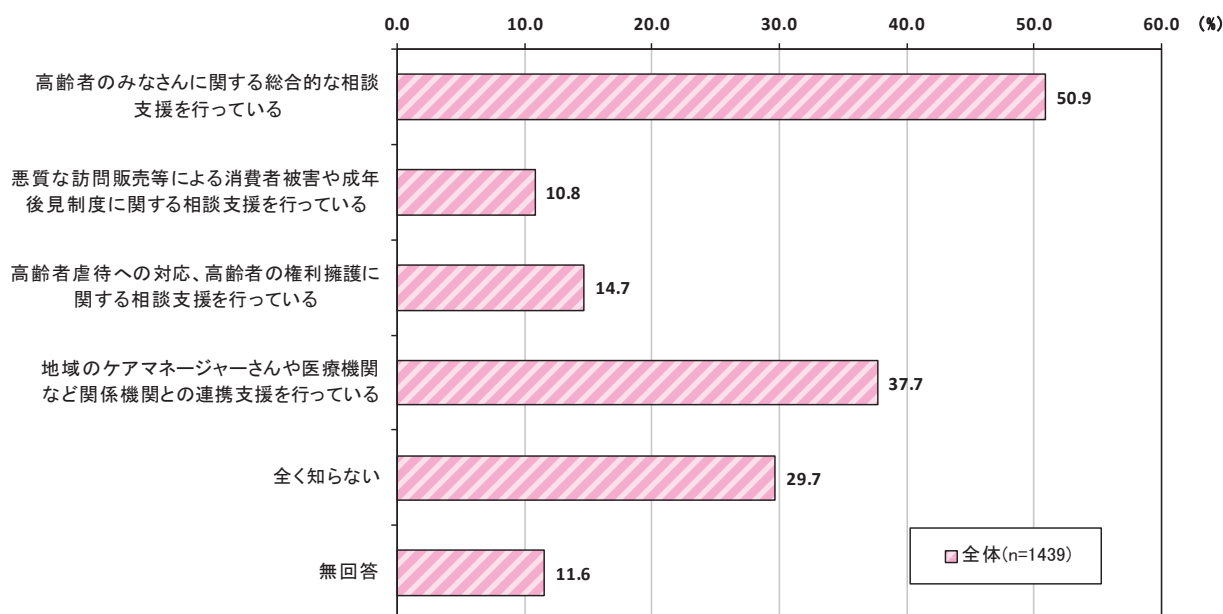


⑧ 地域包括支援センターの役割や機能について

地域包括支援センターの役割や機能については、「高齢者のみなさんに関する総合的な相談支援を行っている」は50.9%と半数が知っているものの、「地域のケアマネージャーさんや医療機関等関係機関との連携支援を行っている」は37.7%、「高齢者虐待への対応、高齢者の権利擁護に関する相談支援を行っている」は14.7%、「悪質な訪問販売等による消費者被害や成年後見制度に関する相談支援を行っている」は10.8%と少なくなっています。

また、「全く知らない」も29.7%みられます。

問 地域包括支援センターの役割や機能をご存知ですか。(○はあてはまるものすべて)



(2) 在宅介護実態調査

① 調査の目的

本調査は、日南市に在住する「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として、調査を行いました。

② 調査の実施方法

区 分	在宅介護実態調査
1 調査対象者と抽出方法	介護認定申請（新規・更新）を行った被保険者及びその家族等（施設入所者を除く）
2 調査方法	介護認定調査員による直接聞き取り
3 調査期間	平成29年2月1日～6月30日
4 回収状況	配布数 349 回収数 349 回収率 100%

③ 主な介護者と性別、年齢（A票問3、4、5）

主な介護者としては、「子」が52.8%と半数強を占めています。次いで「配偶者」が27.5%、「子の配偶者」が9.9%となっています。

介護者の性別としては、「男性」が26.2%、「女性」が72.2%となっています。

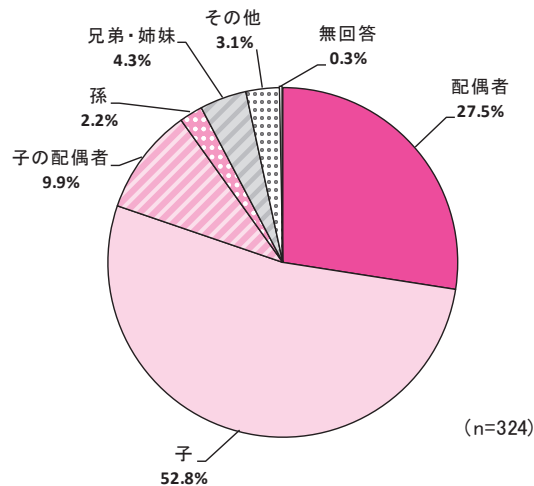
介護者の年齢としては、「60代」が38.6%、「50代」が25.0%、「70代」が16.0%「80歳以上」が13.3%となっており、60代以上の合計は67.9%に達します。

問 主な介護者の方は、どなたですか。（1つを選択）

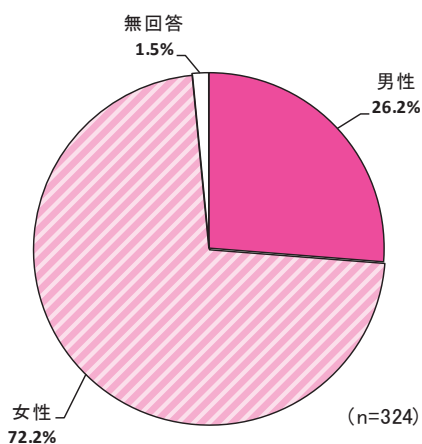
問 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（1つを選択）

問 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（1つを選択）

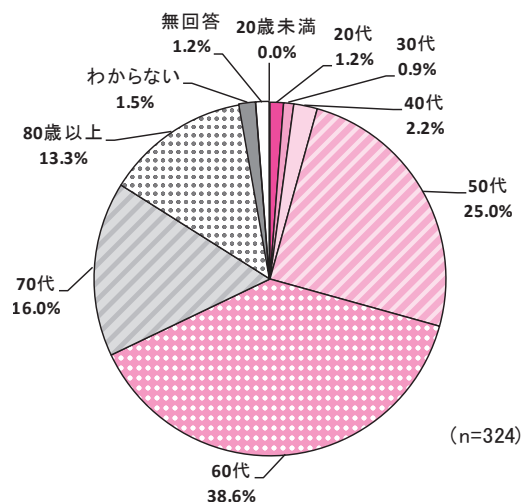
■ 主な介護者 ■



■ 性別 ■



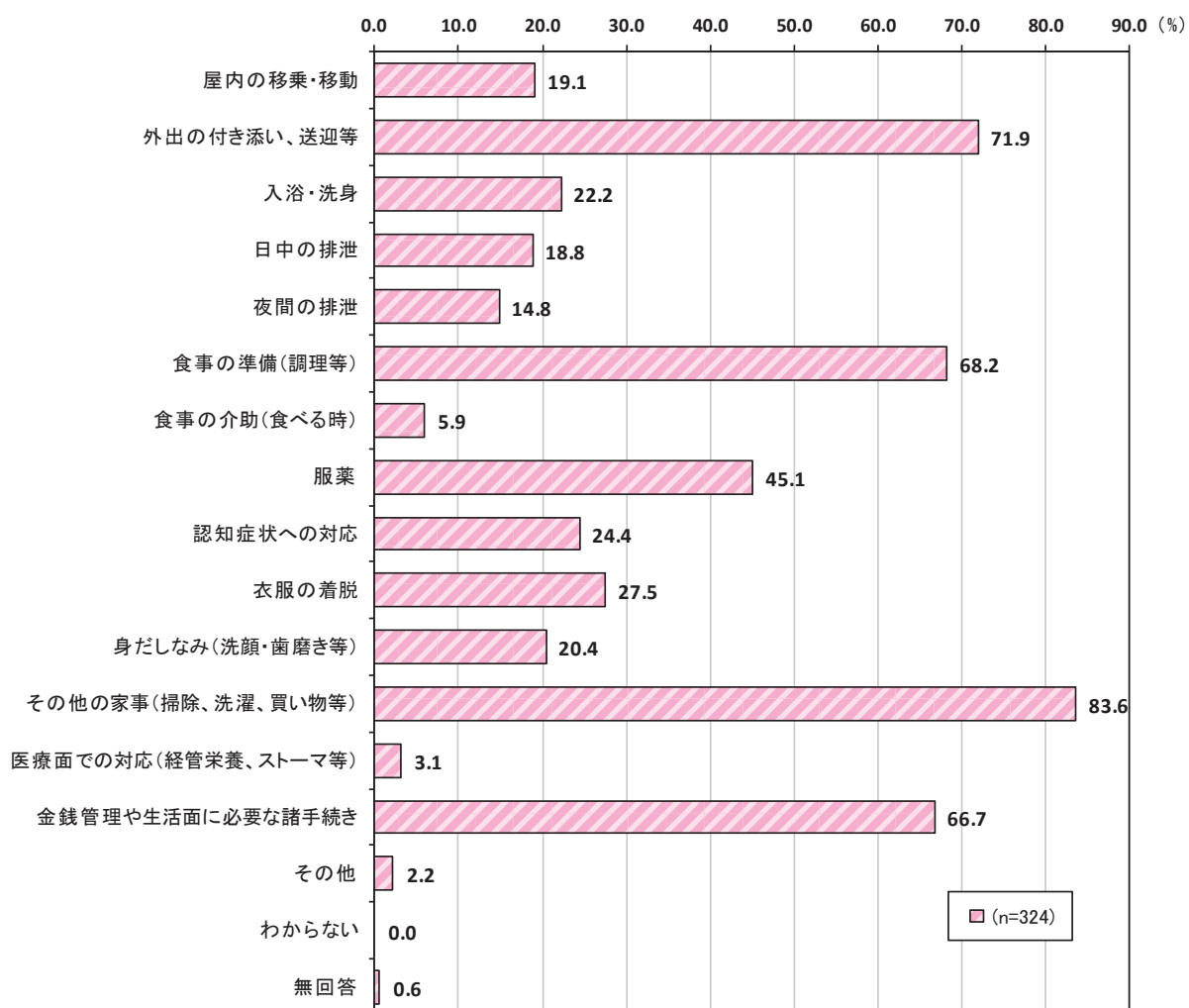
■ 年齢 ■



④ 主な介護者の方が行っている介護等調査の目的

主な介護者が行っている介護の内容としては、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が83.6%と最も多くなっています。次いで「外出の付き添い、送迎等」（71.9%）、「食事の準備（調理等）」（68.2%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（66.7%）等が多くなっています。

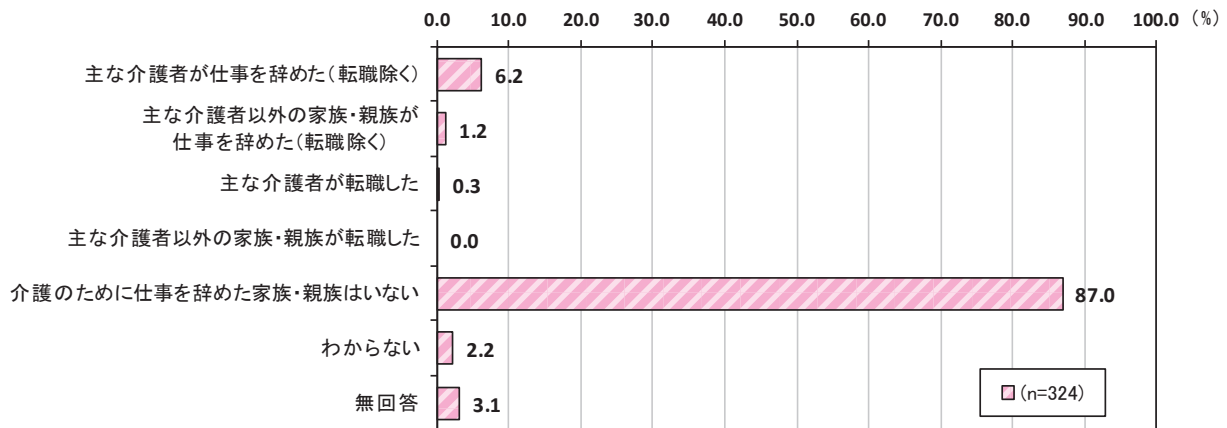
問 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（複数選択可）



⑤ 介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた人

家族や親族の中で介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた人がいるかどうかをみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.2%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」が1.2%、「主な介護者が転職した」が0.3%、合計した離職率は7.7%となっています。「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が87.0%と多くなっています。

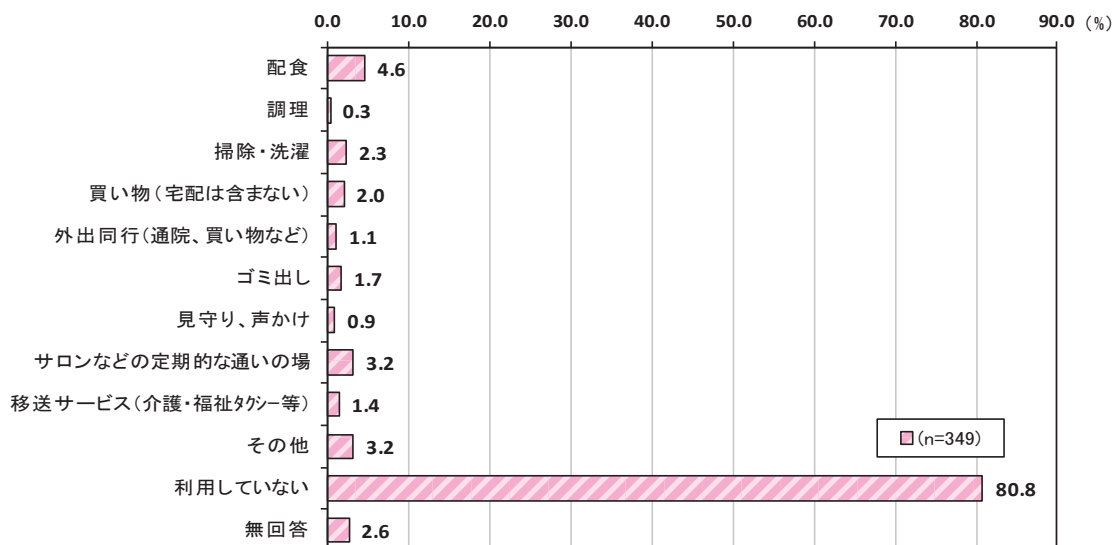
問 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）



⑥ 現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス

現在、利用している介護保険サービス以外の支援・サービスとしては、「配食」（4.6%）が最も多くなっていますが、80.8%は「利用していない」としています。

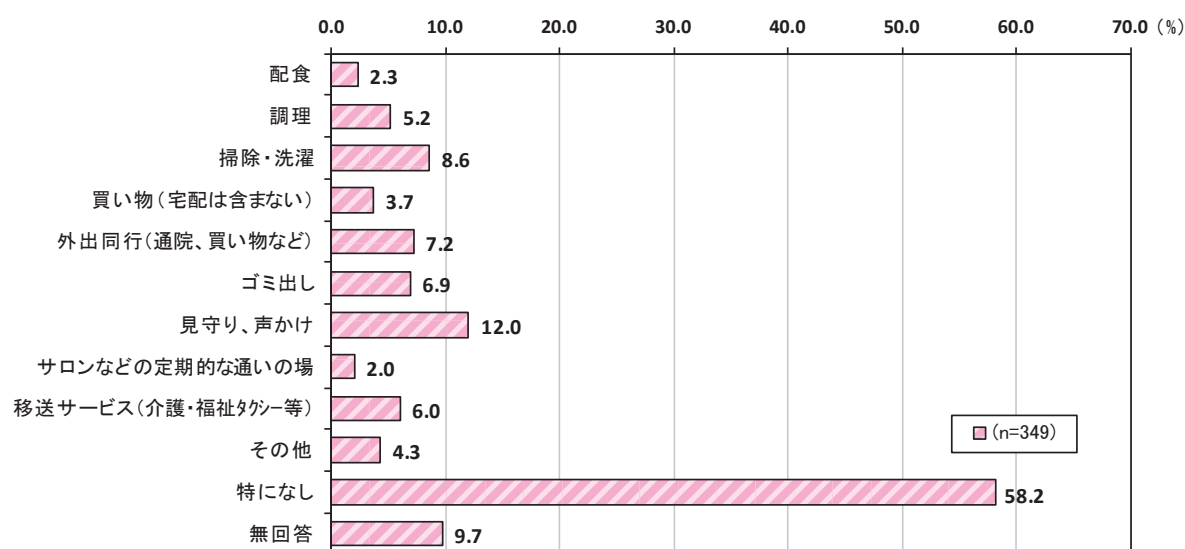
問 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）



⑦ 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスとしては、「見守り、声かけ」(12.0%)をはじめとして、「掃除・洗濯」(8.6%)、「外出同行(通院、買い物等)」(7.2%)、「ゴミ出し」(6.9%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(6.0%)、「調理」(5.2%)等が多くなっています。

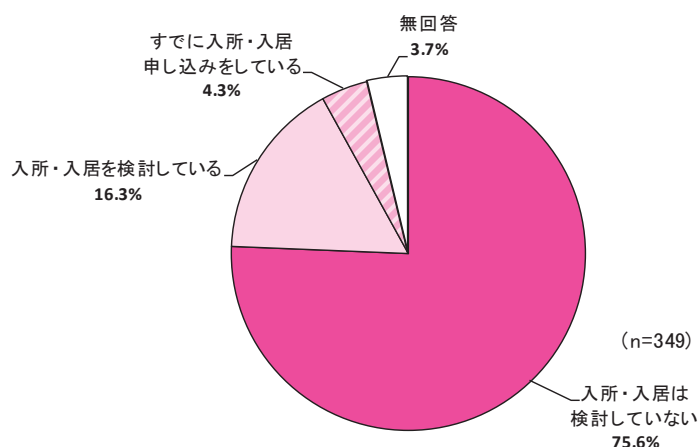
問 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(複数選択可)



⑧ 施設等への入所・入居の検討状況

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が75.6%と圧倒的に多く、「入所・入居を検討している」は16.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は4.3%となっています。

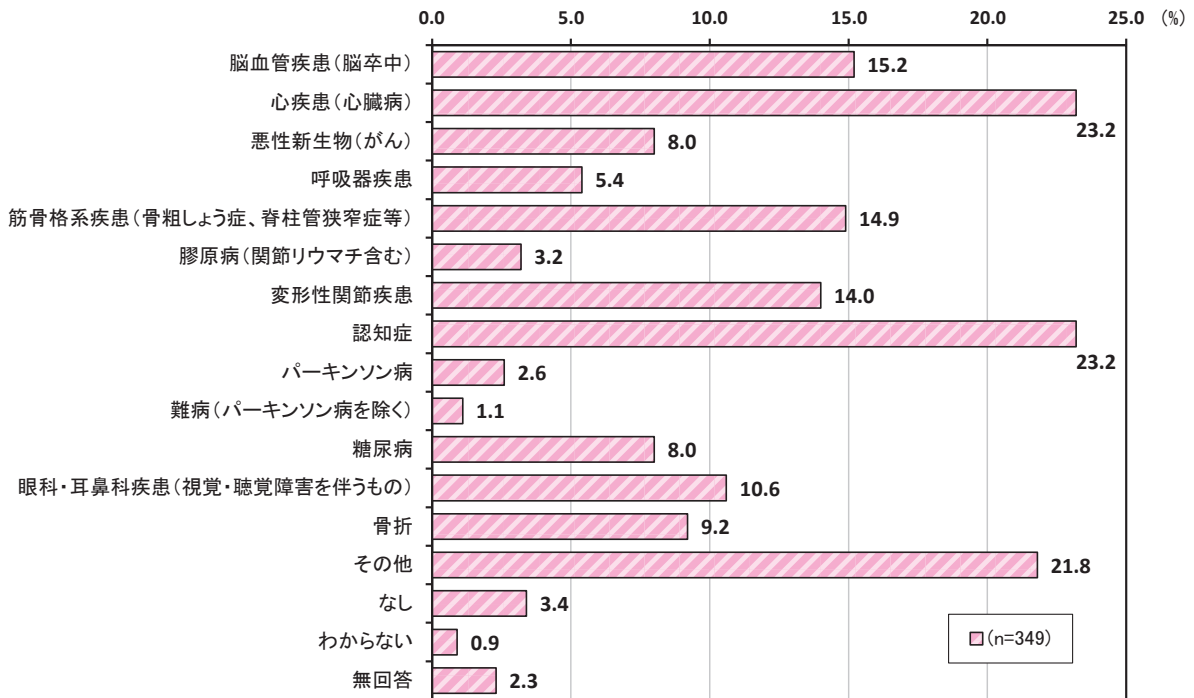
問 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)



⑨ 現在抱えている傷病

現在抱えている傷病としては、「心疾患（心臓病）」と「認知症」が各23.2%と多くなっています。次いで「脳血管疾患（脳卒中）」（15.2%）、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（14.9%）、「変形性関節疾患」（14.0%）、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（10.6%）等が多くなっています。

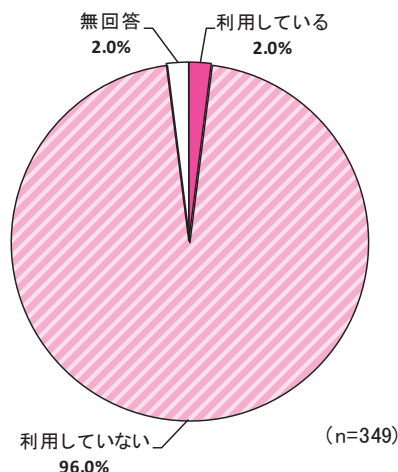
問 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）



⑩ 訪問診療

訪問診療については、「利用している」が2.0%、「利用していない」が96.0%となっています。

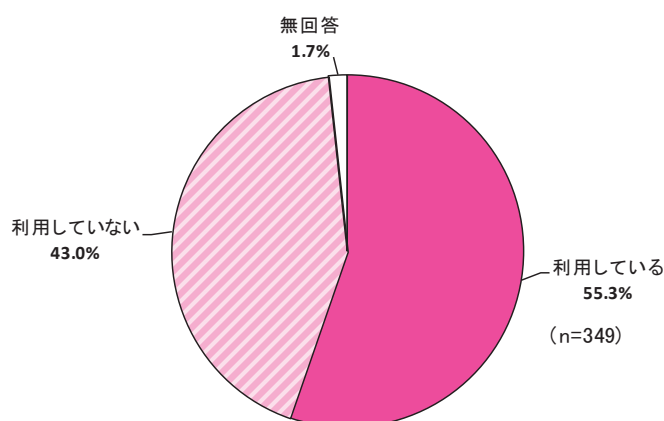
問 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）



⑪ 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況

住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況としては、「利用している」が55.3%、「利用していない」が43.0%となっています。

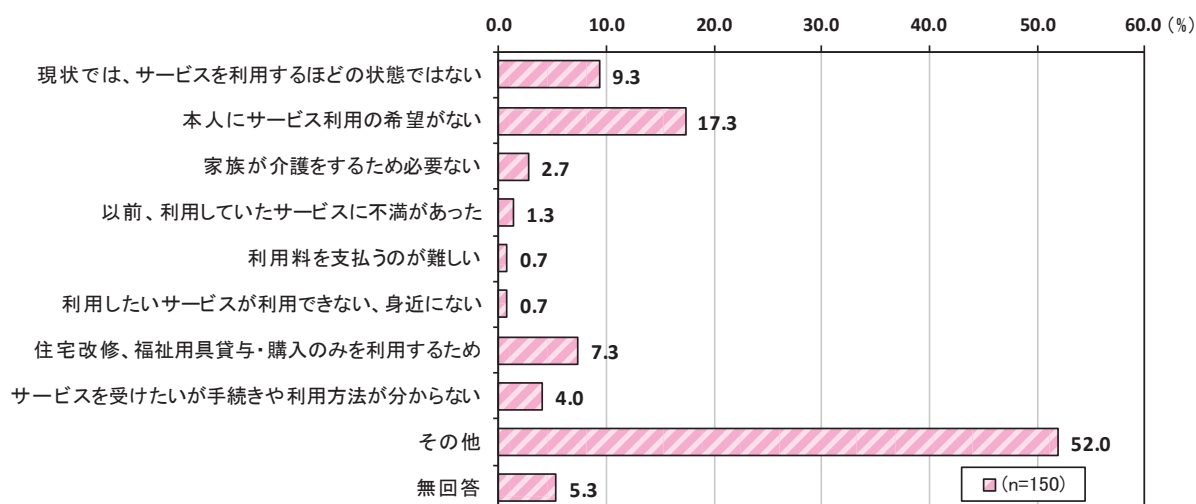
問 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（1つを選択）



⑫ 介護保険サービスを利用していない理由

介護保険サービスを利用していない理由としては、「本人にサービス利用の希望がない」（17.3%）と「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」（9.3%）の2つが多くなっています。

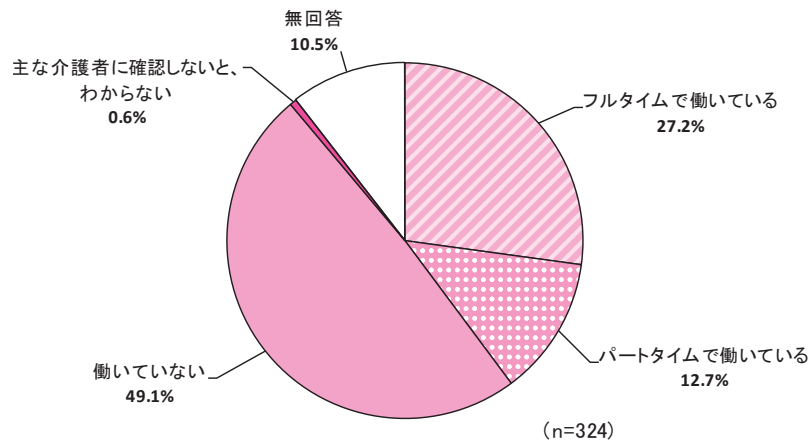
問 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（複数選択可）



⑬ 主な介護者の方の勤務形態

主な介護者の現在の勤務形態としては、「フルタイムで働いている」が27.2%、「パートタイムで働いている」が12.7%、「働いていない」が49.1%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が0.6%となっています。

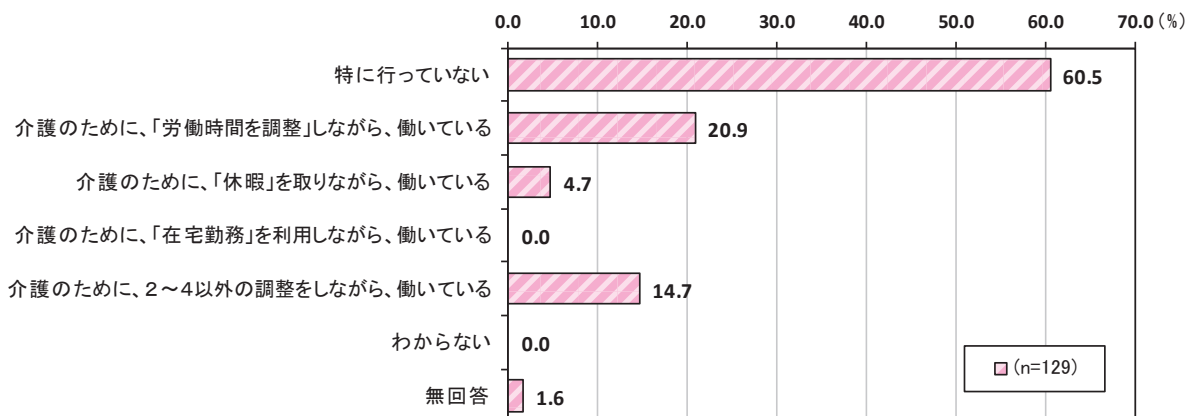
問 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)



⑭ 介護者の働き方についての調整等

介護をするにあたって、働き方の調整等を行っているかどうかをみると、「特に行っていない」が60.5%と多くなっています。行ったこととしては、「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」(20.9%)や「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」(14.7%)等が多くなっています。

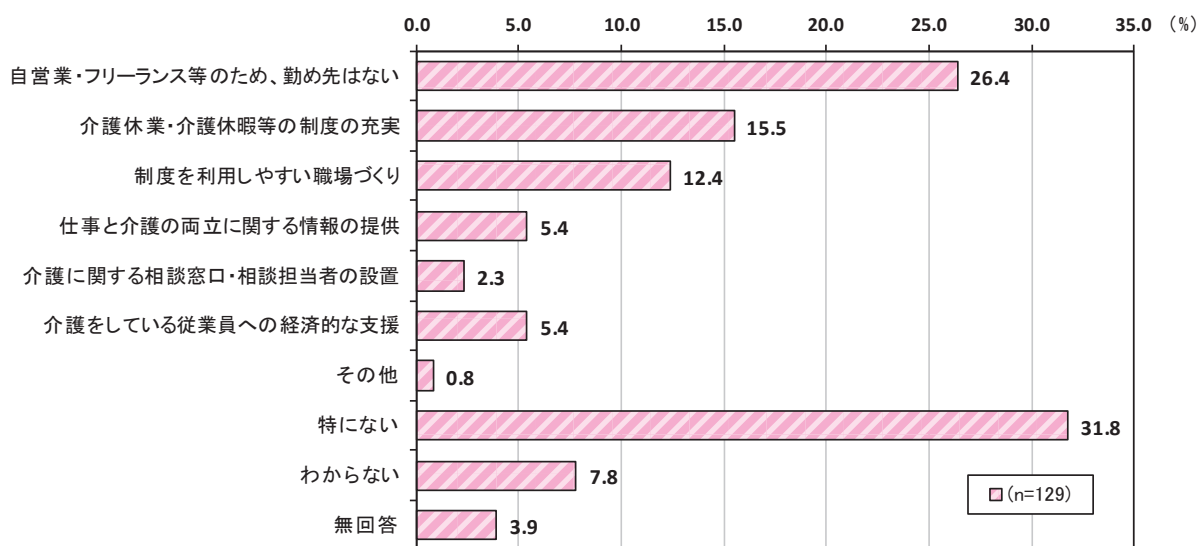
問 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数選択可)



⑮ 仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援

勤め先に要望する支援としては、「特にない」(31.8%)と「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」(26.4%)の2つが多くなっています。

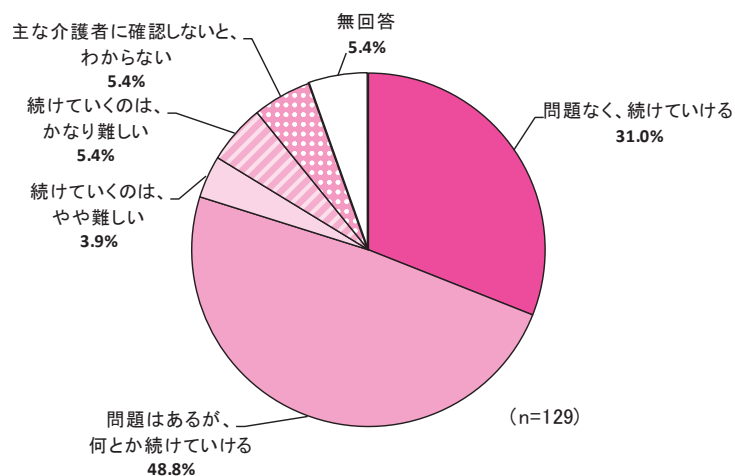
問 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(複数選択可)



⑯ 働きながらの介護継続意向

働きながらの介護をみると、「問題なく、続けていける」31.0%にとどまり、「問題はあるが、何とか続けていける」が48.8%、「続けていくのは、やや難しい」が3.9%、「続けていくのは、かなり難しい」が5.4%となっています。

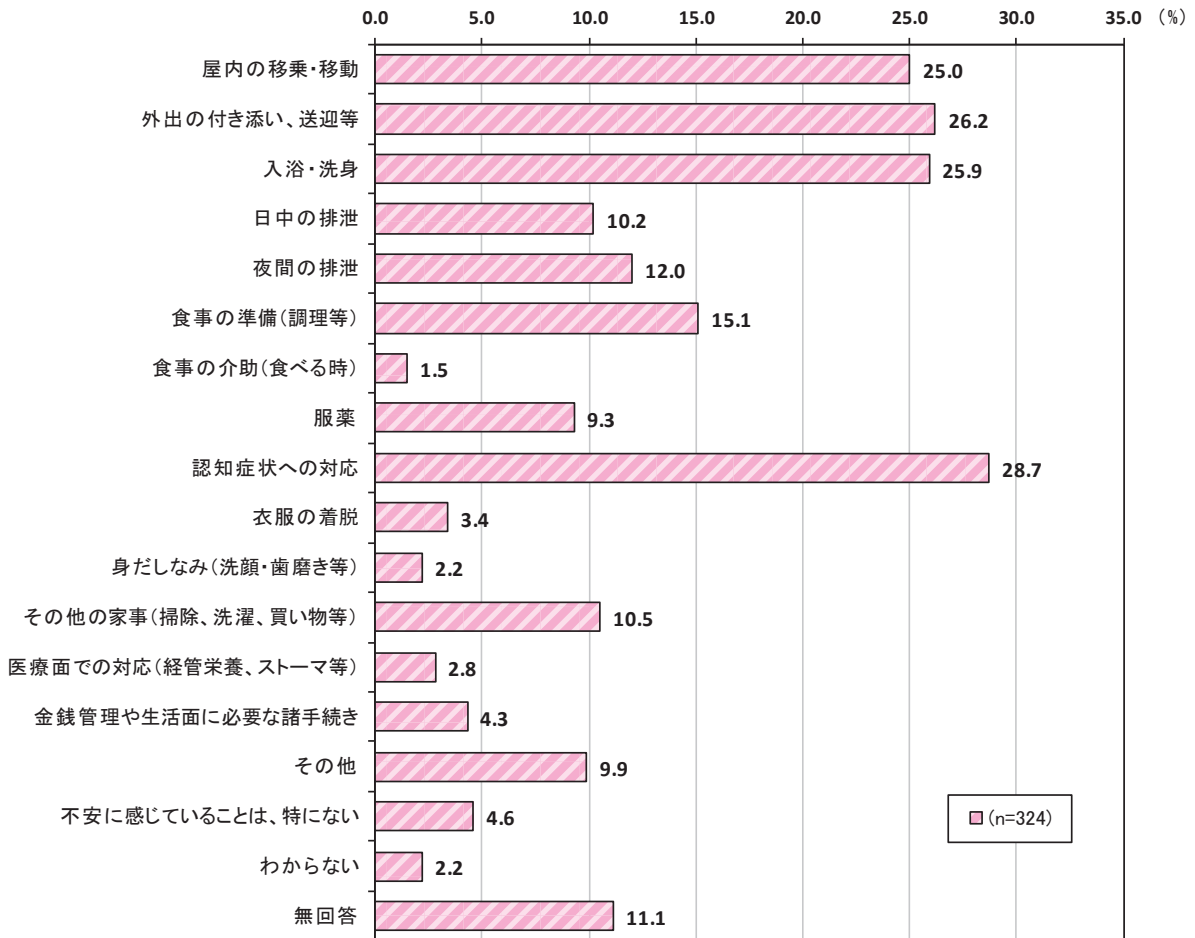
問 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)



⑰ 介護者が不安に感じる介護等

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じていることとしては、「認知症状への対応」(28.7%)をはじめとして、「外出の付き添い、送迎等」(26.2%)、「入浴・洗身」(25.9%)、「屋内の移乗・移動」(25.0%)等が多くなっています。

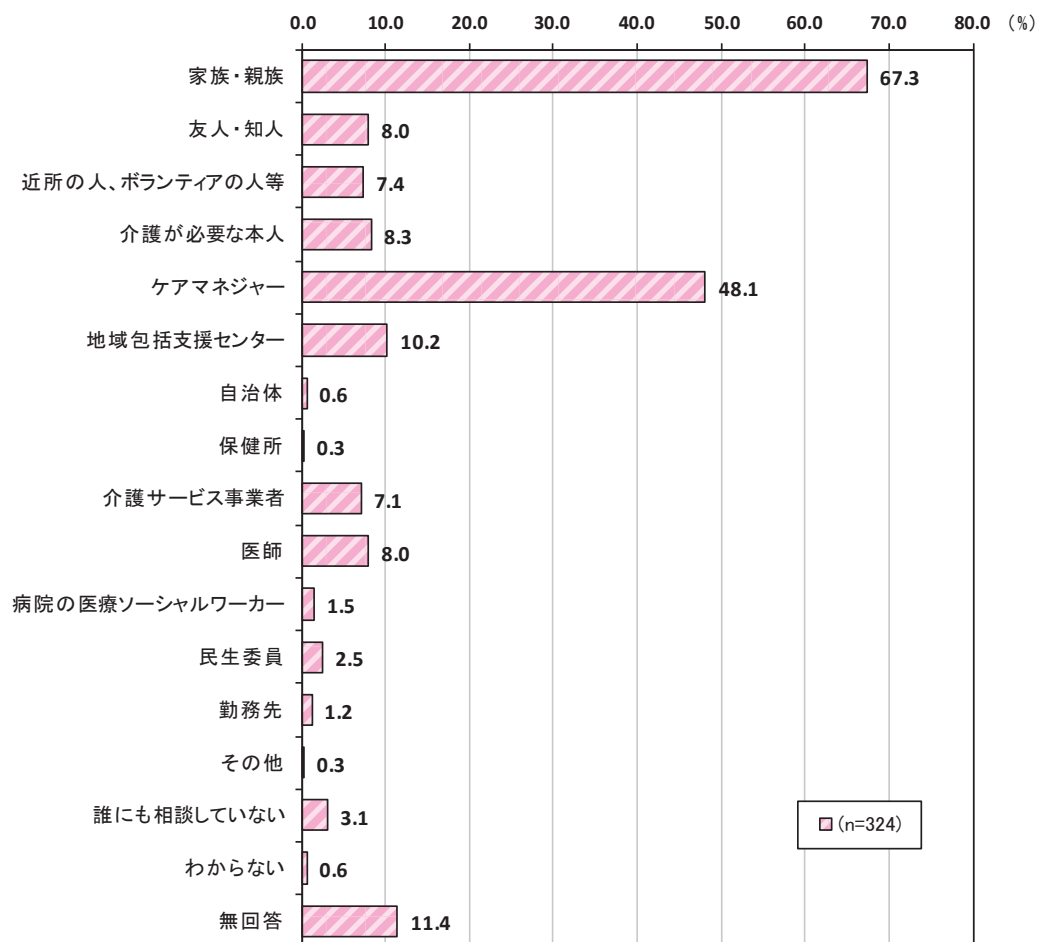
問 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)



⑱ 介護者の相談相手

主な介護者が介護のことについて相談する相手としては、「家族・親族」が67.3%と圧倒的に多く、次いで「ケアマネジャー」が48.1%となっています。

問 主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。(複数選択可)



(3) 介護サービス事業所調査

① 調査の目的

本調査は、日南市管内の指定介護サービス事業所を運営する法人の高齢者医療・福祉・介護に関する考え等を把握し、高齢者が安全・安心に暮らせるまちづくりを進めるために調査を行いました。

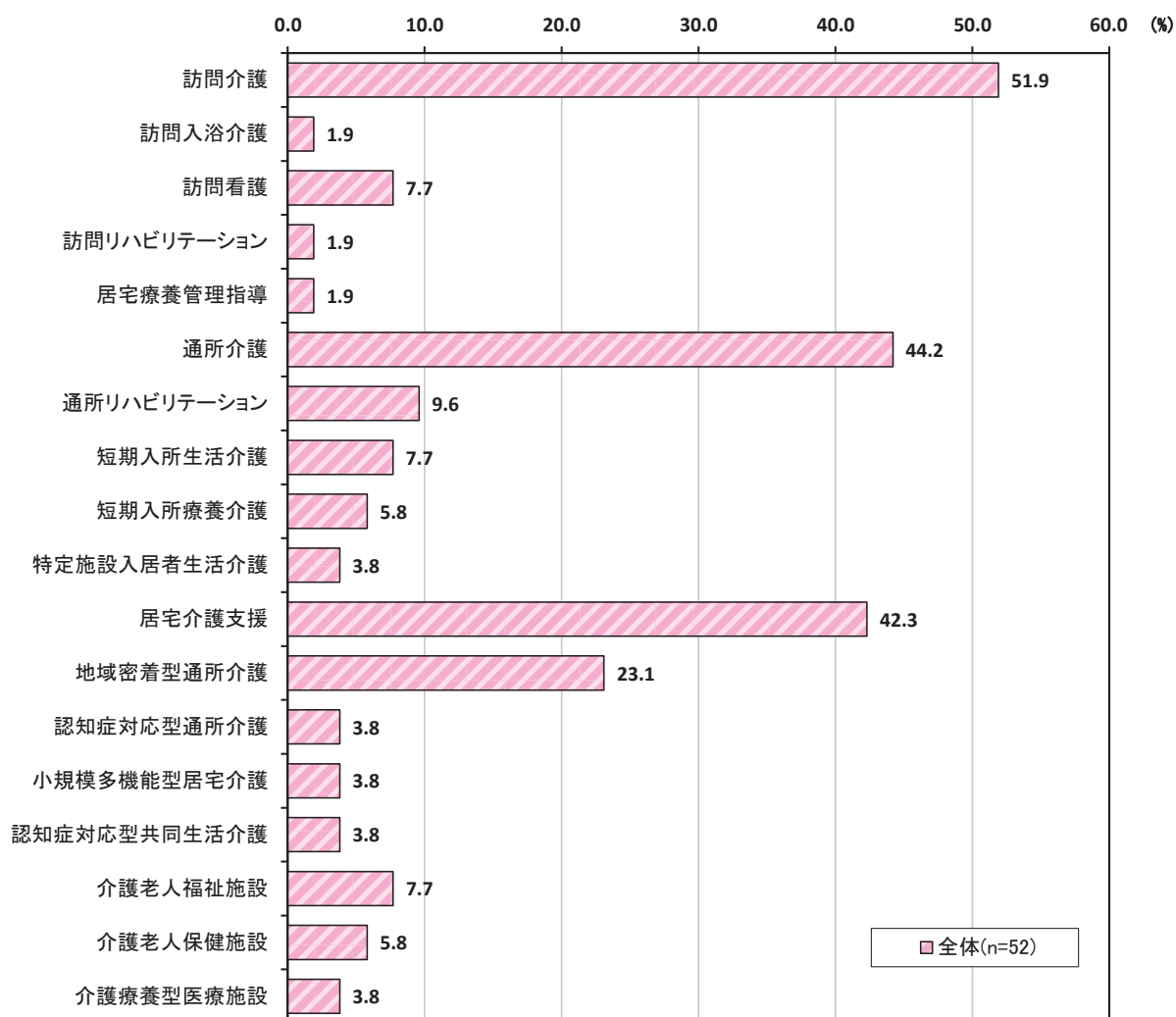
② 調査の実施方法

区 分	指定介護サービス事業所調査
1 調査対象者と抽出方法	市内で介護サービスを行っている法人
2 調査方法	郵送方式による郵送配布・郵送回収
3 調査期間	平成29年7月10日～7月28日
4 回収状況	発送数 60 回収数 52 回収率 86.7%

③ 提供している介護サービス

回答のあった52事業所が、市内で提供している介護サービス（介護予防サービスも含む）としては、「訪問介護」が51.9%と最も多くなっています。次いで「通所介護」が44.2%、「居宅介護支援」42.3%、「地域密着型通所介護」が23.1%となっています。

問 貴法人が日南市内で提供している介護サービス（介護予防サービスも含む）の該当の番号を○で囲んでください。



④ 職種別職員数

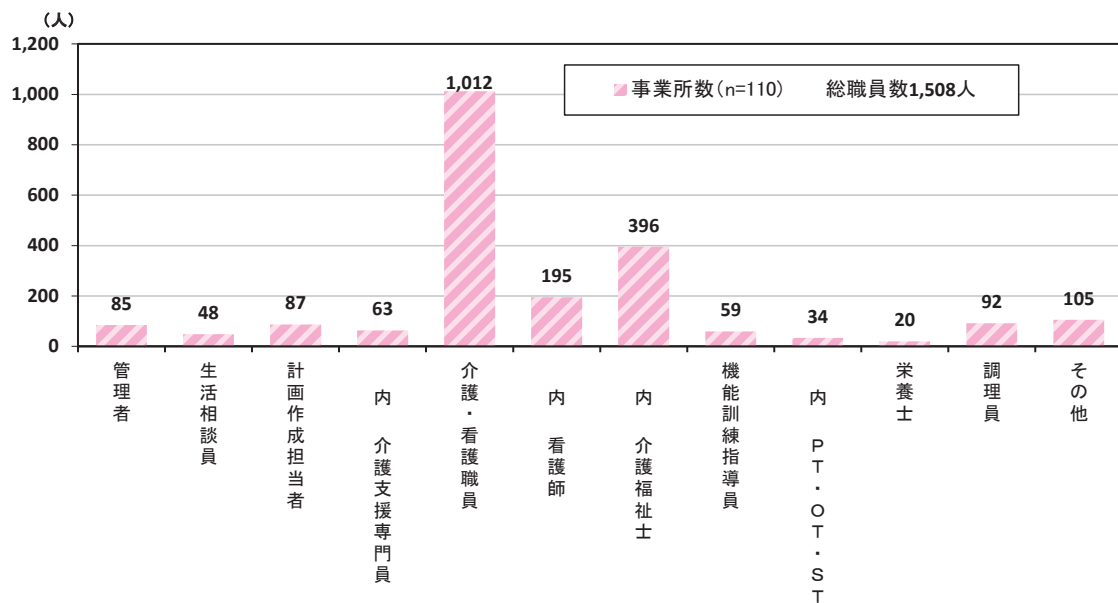
総職員数は、1,508人となっています。

職種別にみると、「介護・看護職員」が1,012人と最も多くなっています。

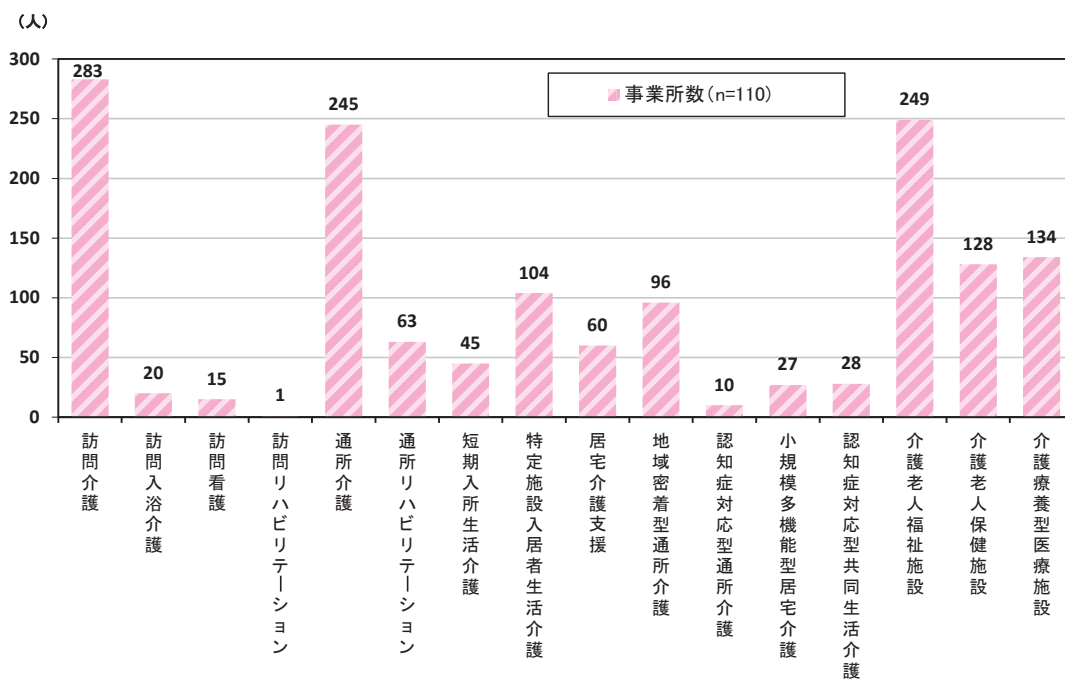
介護サービス別にみると、「訪問介護」の283人が最も多くなっています。次いで「介護老人福祉施設」が249人、「通所介護」が245人となっています。

問 平成29年7月1日時点の介護サービス事業所ごとの職員数（非常勤、パート職員を含む。）を職種別に記入してください。（兼務職員については、主としている職種に記入し、それ以外は重複して記入しないでください。）

【職種別】



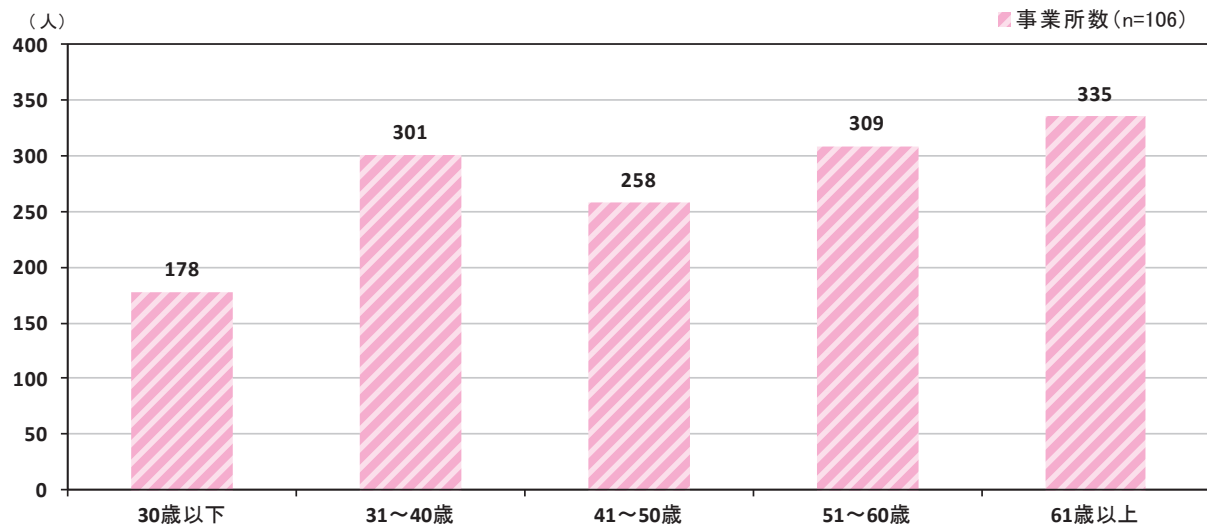
【介護サービス別】



⑤ 年齢別職員数

職員の年齢別構成をみると、「30歳以下」が178人、「31～40歳」が301人、「41～50歳」が258人、「51～60歳」が309人、「61歳以上」が335人となっています。

問 職員（非常勤、パート職員を含む。）の年齢別人数を記入してください。

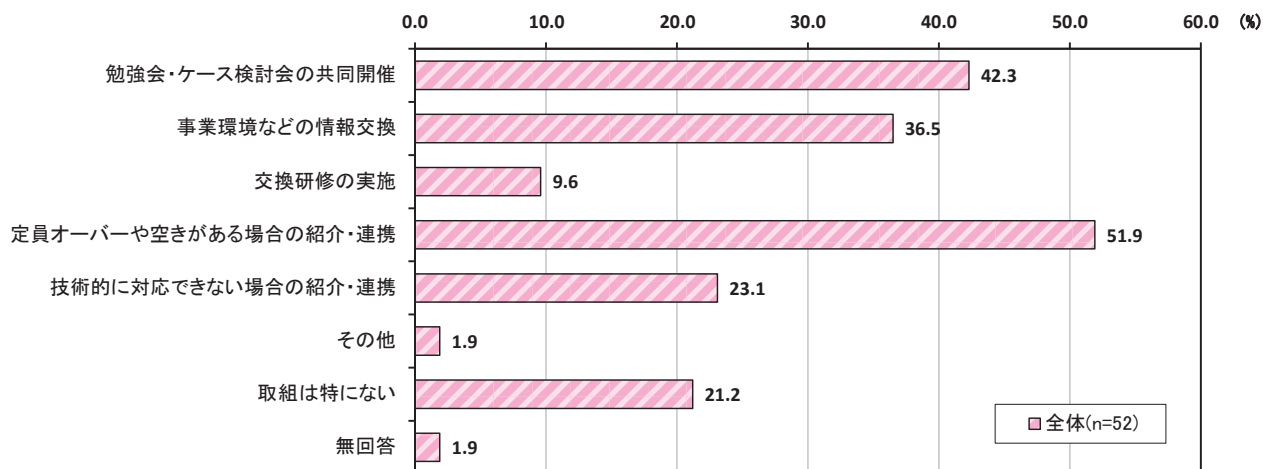


（注）年齢構成が不明な事業所があるため、職種別の合計と一致しません。

⑥ 介護サービス事業者との連携

他の介護サービス事業者との連携としては、「定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携」が51.9%と最も多くなっています。次いで「勉強会・ケース検討会の共同開催」が42.3%、「事業環境などの情報交換」が36.5%となっています。

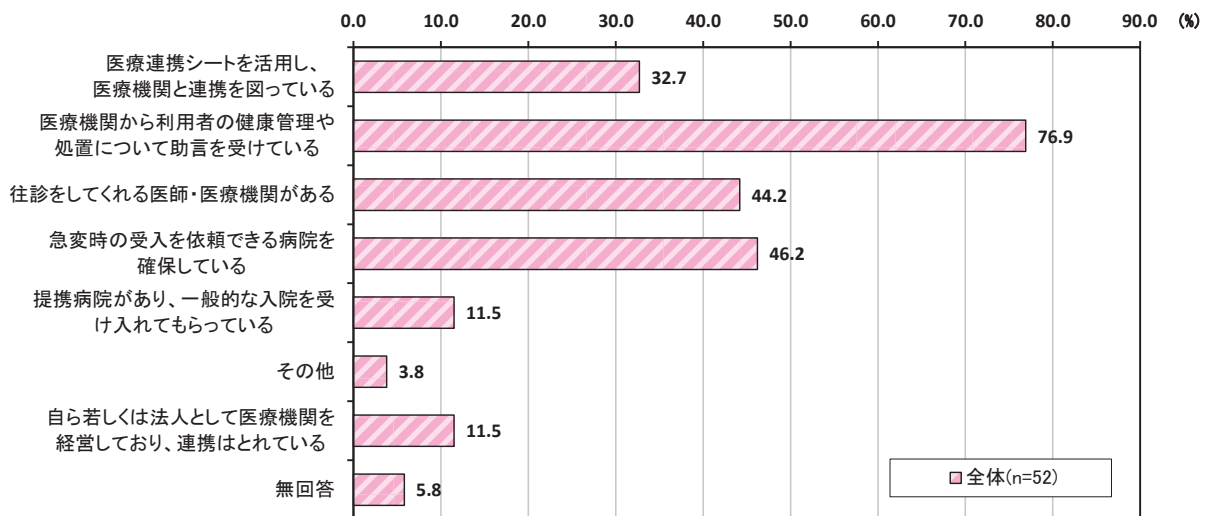
問 貴法人が運営している事業所で、他の介護サービス事業者との連携について取り組んでいることがありますか。（あてはまるものすべてに○）



⑦ 医療機関との連携

医療機関との連携としては、「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」が76.9%と圧倒的に多くなっています。次いで「急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している」(46.2%)、「往診をしてくれる医師・医療機関がある」(44.2%)、「医療連携シートを活用し、医療機関と連携を図っている」(32.7%)となっています。

問 貴法人が運営している事業所で、医療機関との連携について、事業所として取り組んでいることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

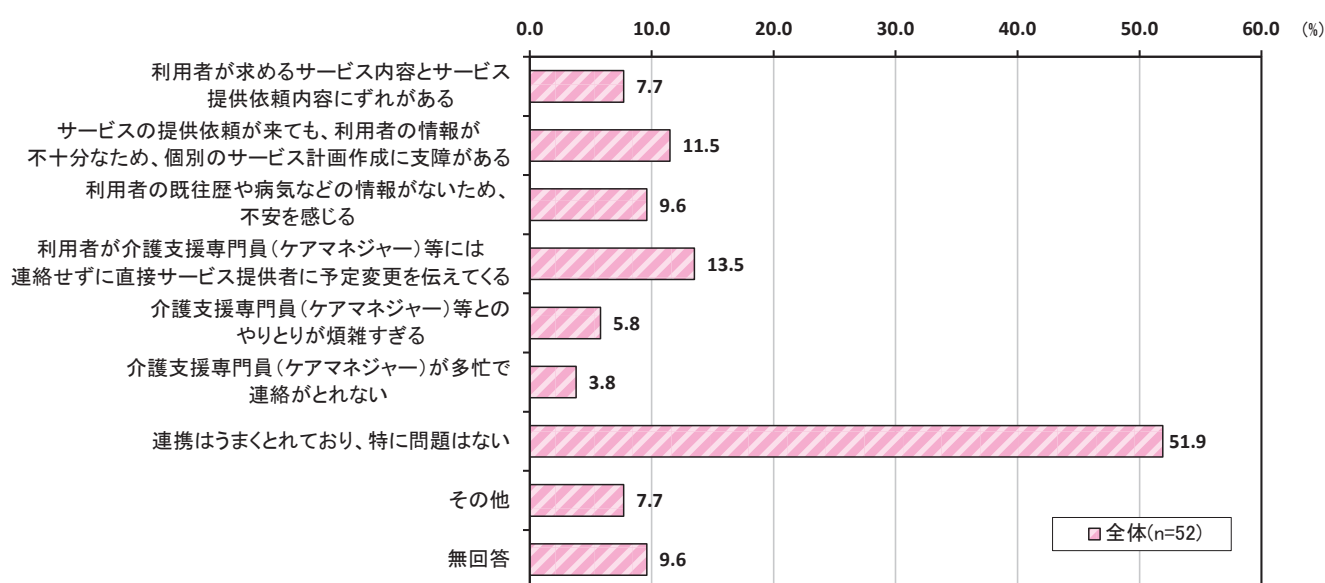


⑧ 地域包括支援センターとの連携で困っていること

居宅介護支援事業者や地域包括支援センターとの連携で困っていることとしては、「連携はうまくとれており、特に問題はない」が51.9%と半数を超えています。

困っていることとしては、「利用者が介護支援専門員（ケアマネジャー）等には連絡せずに直接サービス提供者に予定変更を伝えてくる」が13.5%と最も多く、次いで「サービスの提供依頼が来ても、利用者の情報が不十分なため、個別のサービス計画作成に支障がある」が11.5%となっています。

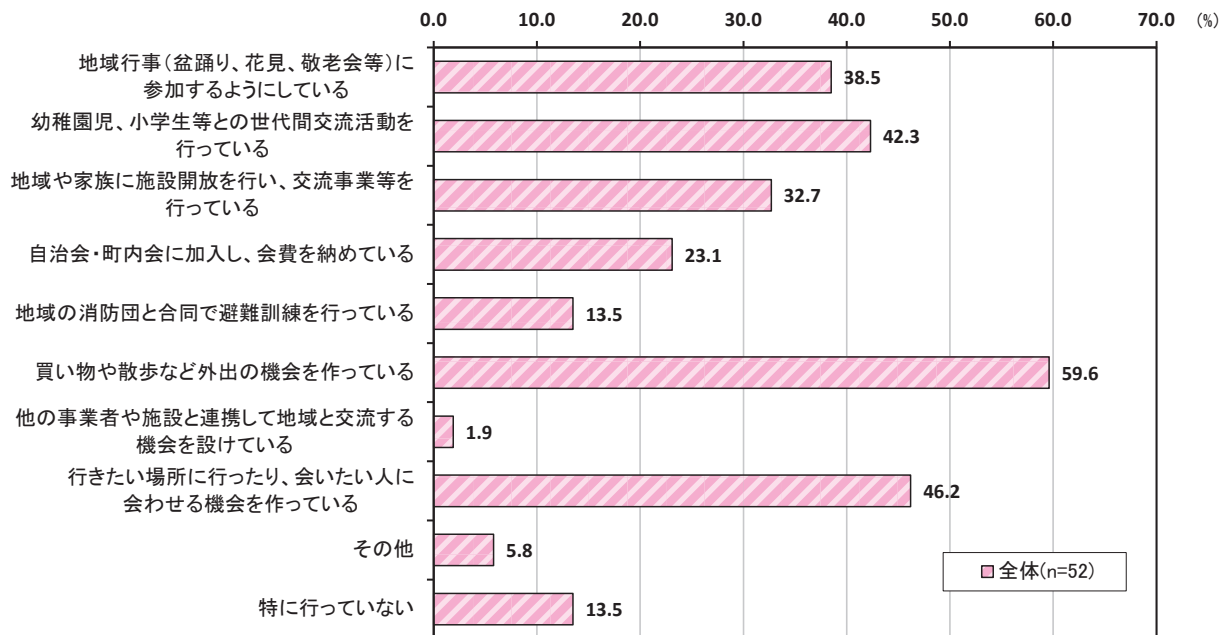
問 貴法人が運営している事業所で、居宅介護支援事業者や地域包括支援センターとの連携で困っていることがありますか。居宅介護支援のみの法人の方は記入不要です。（あてはまるものすべてに○）



⑨ 利用者と地域とのつながり確保方策

利用者と地域のつながりを確保するための活動としては、「買い物や散歩等外出の機会を作っている」が59.6%と最も多くなっています。次いで「行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせる機会を作っている」が46.2%、「幼稚園児、小学生等との世代間交流活動を行っている」が42.3%、「地域行事（盆踊り、花見、敬老会等）に参加するようにしている」が38.5%となっています。

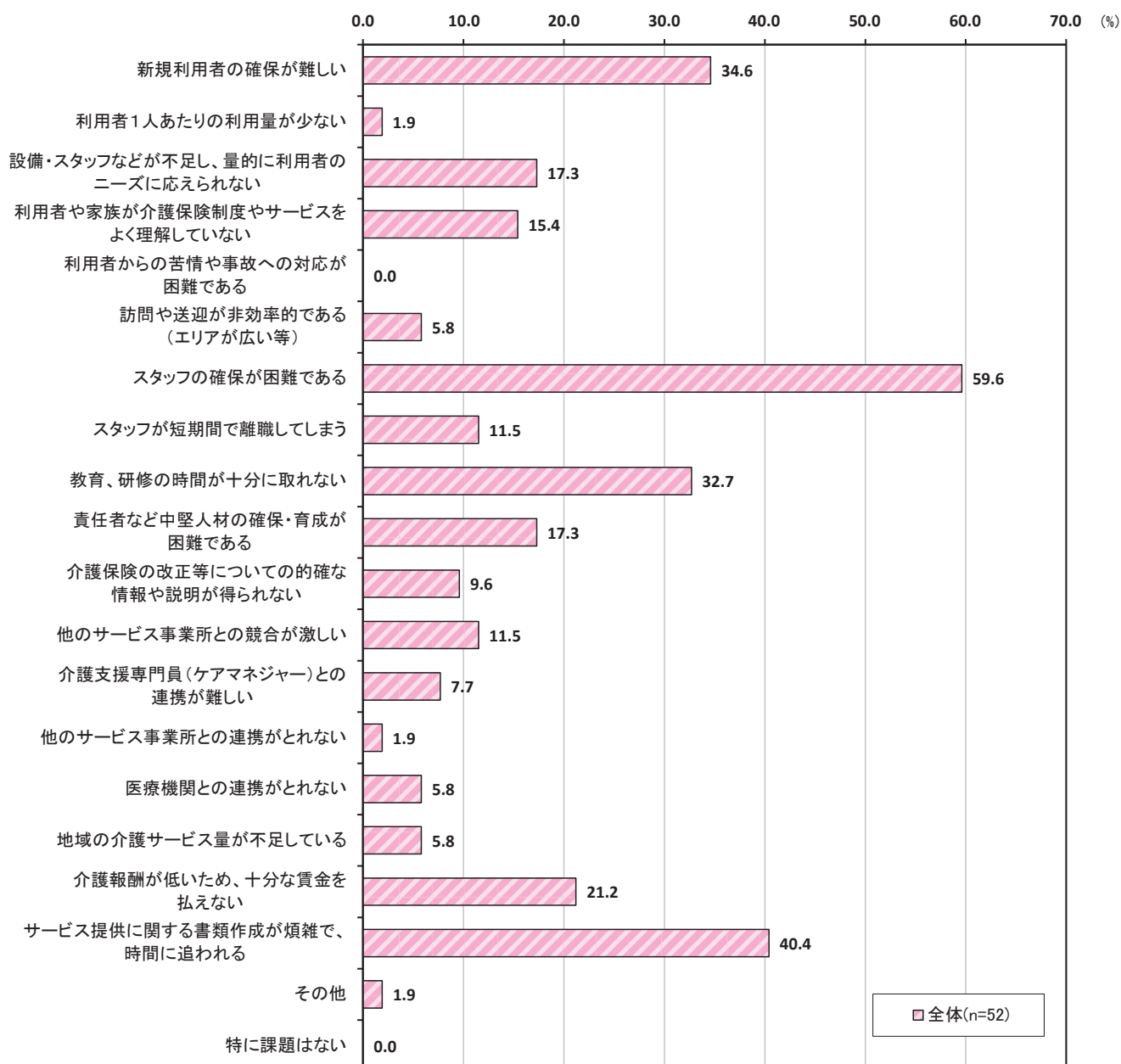
問 貴法人が運営している事業所で、利用者と地域をつなぐ確保するためどのような活動を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)



⑩ 事業運営上の課題

事業運営上の課題としては、「スタッフの確保が困難である」が59.6%と最も多くなっています。次いで「サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われる」が40.4%、「新規利用者の確保が難しい」が34.6%となっています。

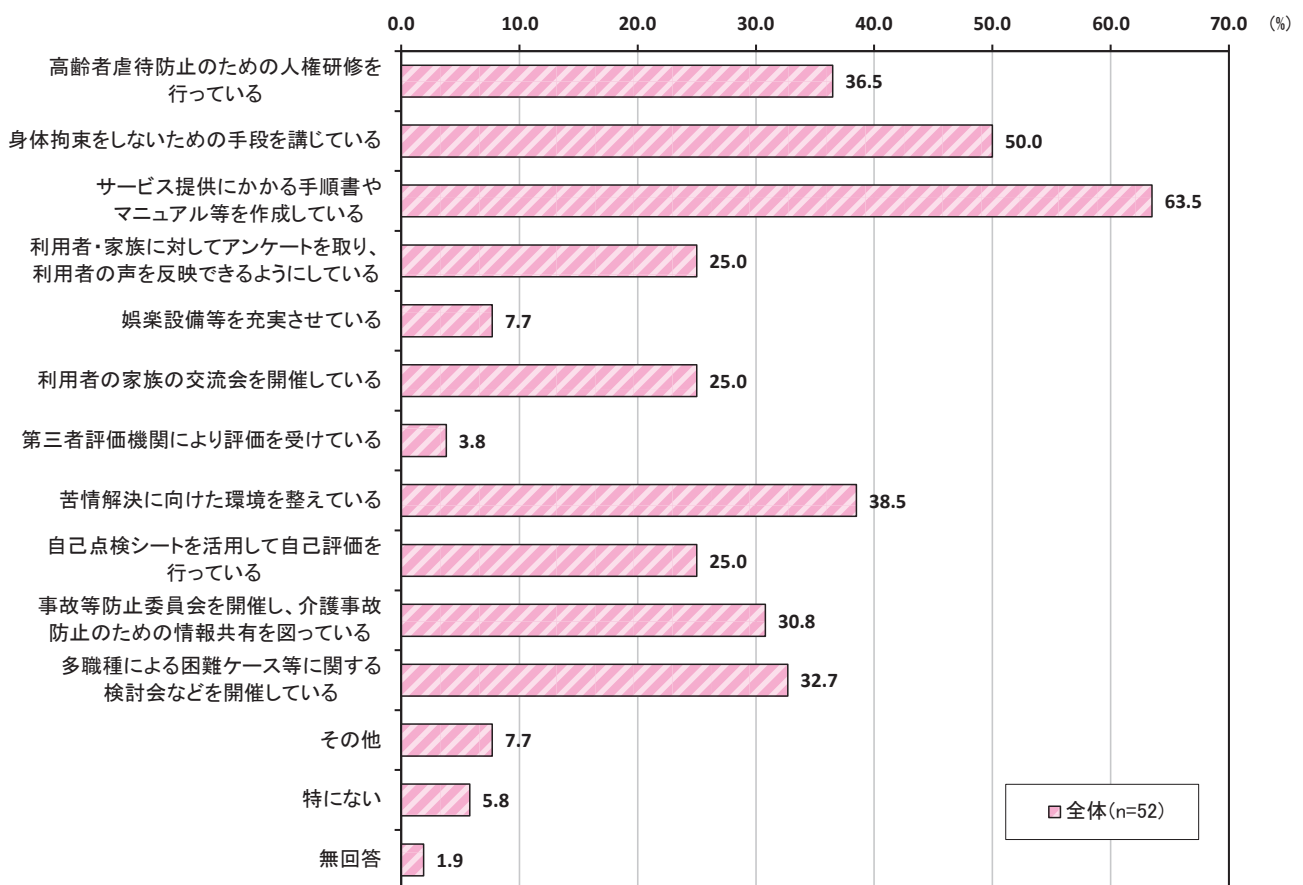
問 貴法人において、事業を運営していくうえでの課題は何ですか。次の中から、主なものを3つまで選んでください。(○は3つまで)



⑪ サービスの質の向上に向けての取組方針

サービスの質の向上に向けて行っている具体的な取り組みとしては、「サービス提供にかかる手順書やマニュアル等を作成している」が63.5%と6割を超えています。次いで「身体拘束をしないための手段を講じている」が50.0%、「苦情解決に向けた環境を整えている」が38.5%、「高齢者虐待防止のための人権研修を行っている」が36.5%、「多職種による困難ケース等に関する検討会等を開催している」が32.7%、「事故等防止委員会を開催し、介護事故防止のための情報共有を図っている」が30.8%となっています。

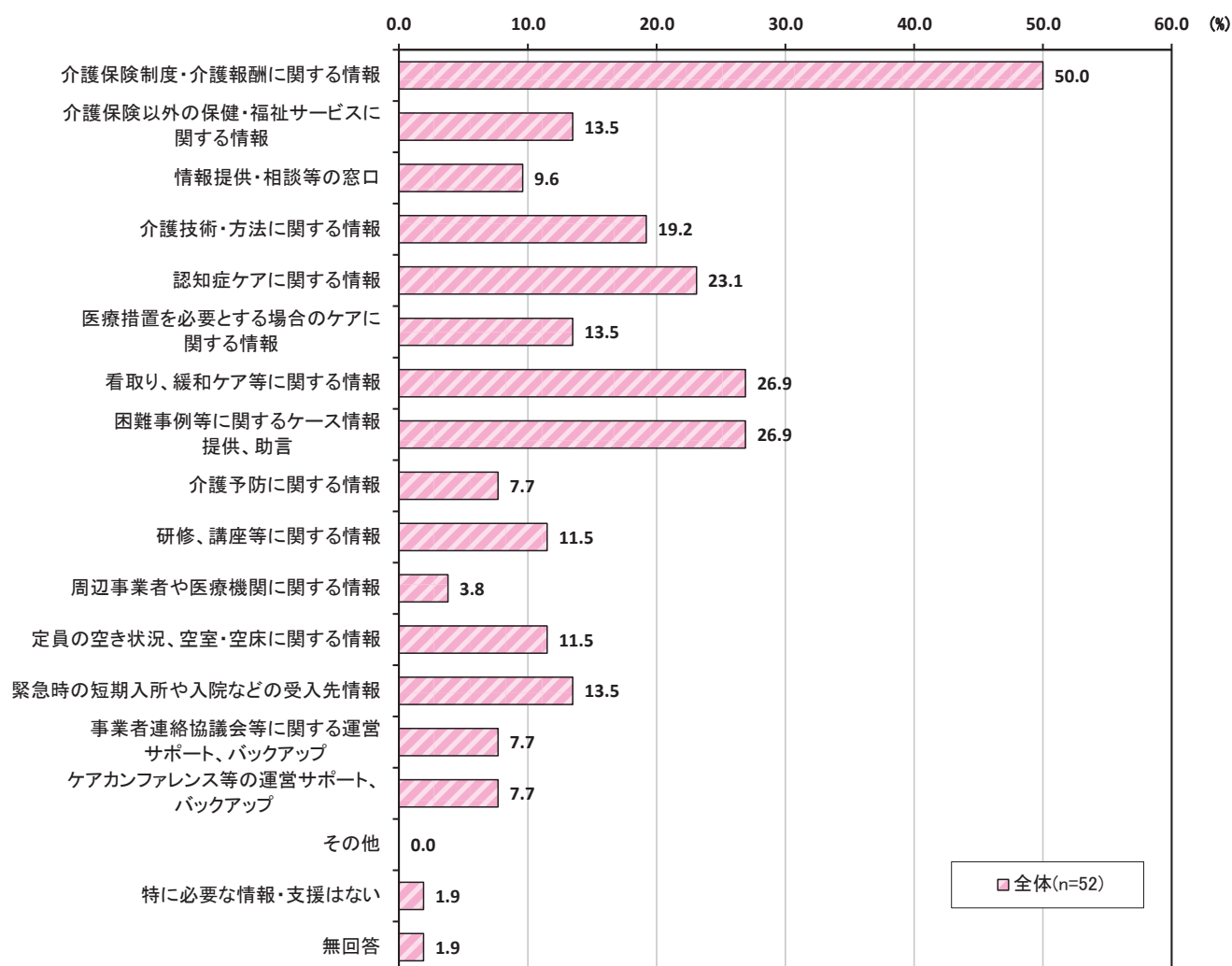
問 貴法人において、サービスの質の向上に向けて行っている具体的な取り組みは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)



⑫ 必要とする情報、支援

事業所の運営やサービス向上のために必要な情報や支援としては、「介護保険制度・介護報酬に関する情報」が50.0%と圧倒的に多くなっています。次いで「看取り、緩和ケア等に関する情報」と「困難事例等に関するケース情報提供、助言」が各26.9%、「認知症ケアに関する情報」が23.1%となっています。

問 事業所の運営やサービス向上のために、どのような情報や支援が必要と考えられていますか。次の中から特に必要と考えられる情報、支援を3つまで選んでください。(○は3つまで)



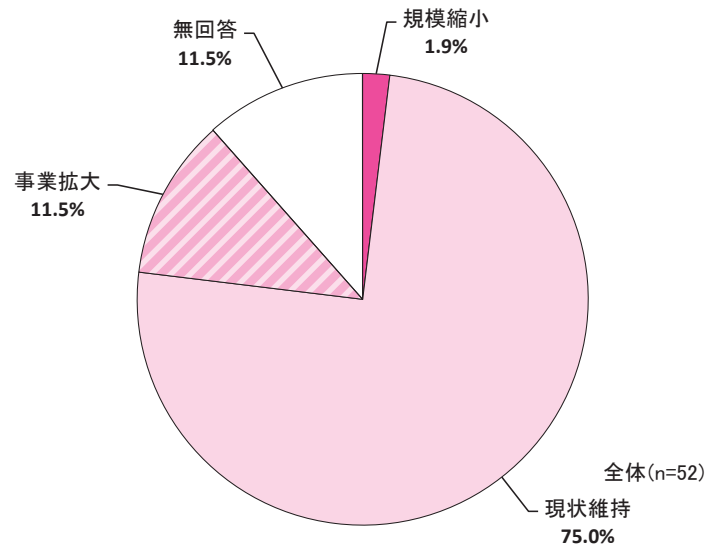
⑬ 今後の事業展開について

今後3年間の事業展開としては、「現状維持」が75.0%と圧倒的に多くなっています。

次いで「事業拡大」が11.5%、「規模縮小」が1.9%となっています。

事業規模拡大の内容をみると、介護老人福祉施設、訪問看護、短期入所生活支援があげられています。

問 日南市内での今後3年間の事業展開について、貴法人の考えをお聞かせください。(○はひとつ)



問 先ほどの問で「3. 事業拡大」と回答された方が回答してください。事業拡大を希望されている介護サービス種別、増員規模（新規開設、規模拡大のどちらかに○を付けてください。）、事業展開の時期をご記入ください。

サービス種類	増員規模		時期
訪問看護	新規開設	10人	平成30年 4 月
訪問看護	新規開設	無記入	平成31年 4 月
短期入所生活介護	規模拡大	2人	平成30年 4 月
介護老人福祉施設	規模拡大	20人	平成31年 4 月
訪問介護	新規開設	無記入	平成30年 4 月
宅老所	新規開設	10人	平成30年10月
居宅介護支援	新規開設	2人	平成32年 4 月
看護小規模多機能居宅介護	新規開設	無記入	平成32年 4 月
地域密着型特別養護老人ホーム	無記入	無記入	無記入